

西条弁 意識! 再考 「金太郎」を西条弁で語ってみると…

おはようございました。なんやかんやで方言シリーズも11回目じゃがね。今回は西条弁で語る「金太郎」。このごろ携帯電話のコマーシャルにもでよる? ほんでも、金太郎の

と一のむかしのことじゃけどの一

むかしむかしのこと、

動物ぎりしかおらん したたま 山奥に

動物だけしか住んでいないような、とんでもない山奥に

「**金太郎**」ゆう 名前の子おが おったんよ。

「金太郎」という名前の子がおりました。

金太郎の連れは山の動物ら だけじゃけん。

金太郎の友達は、山の動物たちだけです。

きにょうも 今日も動物らと相撲取って

昨日も、今日も、動物らと相撲を取って

遊びよったわね。

遊んでいました。

ほやけんど いつも勝つのは金太郎で

だけど、いつも勝つのは金太郎で、

からが ほたくれ 肥えとるクマも

体がとっても太っているクマも

金太郎には ぜんぜん 勝てんがね。

金太郎には全く勝てませんでした。

「**はが**い一の一。ほやけんど 次は負けんぞん」

「悔しいなあ。だけど、次は負けられないよ」

「**今度は** 綱引きでも しょーや」

「今度は、綱引きでもして遊ぼうよ」

綱引き ゆーても 金太郎 ひとりと

綱引きといっても、勝負は金太郎ひとりと

山中の動物ら ぜんぶの 勝負じゃけん。

山の中の動物たち全部での勝負です。

動物らの中には

動物たちの中には

クマや ウシや ウマや シカも おったけんど、

クマやウシや、ウマやシカもいましたが、

全員で かかっても 金太郎には 勝てんがね。

全員でかかっていっても、金太郎にはかかないませんでした。

話やか、クマにまたがりお馬の稽古しか知らんがね(笑)。これ読んで話のスジ、覚えてんよお。西条弁ゆうても、新居浜の人もだいたい分かる思うけん、読んでみてつかーさい。

「**い**かんねや。ひとっちゃ 勝てんがや」

「だめだ、ひとつも勝てないよ」

たまがすぐらい よいよう 強い 金太郎じゃわい。

びっくりするぐらい とても強い金太郎です。

「**汗** かいたげや。ケーキでも 食いたいわや」

「汗かいちゃった。アイスクリームでも食べたいな」

… あんきなこと 言よらい。

と、気楽なことを言っています。

違う日いに 金太郎が 山道を 歩きよったら、

別の日に、金太郎が山道を歩いていると、

谷んとこで 動物らに てごうたんよ。

谷のところで、動物らに出会いました。

「**なん**しよん?」

「何をしているんだい?」

「**橋**ないけん 向こうへ いけんのよ。**つ**らいかい」

「橋がないから、向こう側へ行けないのです。困っています」

「**せ**わないがね」

「簡単だよ」

金太郎が 大きい 木の **ね**ぎに かきついて

金太郎が大きな木の幹にしがみついて

持ち上げたけん。

持ち上げました。

木い 生えとるとこは そんなに じゆるないんよ。

木が植えられているところは、軟弱な土地ではありません。

ほんでも **そ**くらんと 引っこ抜いたけん。

それでも、失敗せずに(木を)引っこ抜きました。

それを 持ち上げて 谷に **こ**かしたら

それを持ち上げて、谷に倒すと、

すぐに 橋が できたがね。

すぐに橋が完成しました。

「**た**まげら一。一**銭**橋より すごいがね。」

「びっくりした(=すごいな)。一銭橋より立派な橋だ。」

動物らは よろこんで

動物たちは喜んで

金太郎が おがした 木の橋を 渡りよったわい。

金太郎が引っこ抜いた木の橋を、渡って行きました。

それを **ね**ぎで **み**よった きこりが おったんよ。

その様子を近くで見ていた木こりがいました。

「**あ**いつ **が**いなの一。 **た**まがすかい」

「あの子は強い子だ。びっくりした」

むちゃくちゃ **金太郎**が **気**になった きこりは

とっても金太郎が気になった木こりは

金太郎の **あ**とを **お**わえて いったがね。

金太郎のあとをついていきました。

家に **も**んた **金太郎**に

家に帰った金太郎に、

「**お**んしゃあ **見**よったけど **す**ごいの一。

「お前、(橋を掛けるところを)見ていたけど、すごいな。」

どななんでや **わ**しと **相**撲 **と**ってみんかい?」

今度は私と相撲を取ってみないかい?」

二人は **相**撲を **と**ったけんど

二人は相撲を取りましたが、

なかなか **決**着 **つ**かながね。

なかなか決着がつかせません。

「**お**いさん **強**いねー」

「おじさん、とても強いですね」

金太郎は **き**こりに **ゆ**うたけんど

金太郎は木こりにそう言いましたが、

きこりも **力**尽きて **降**参して **し**もたわい。

木こりも力尽きて、降参してしまいました。

ほんとは **そ**のきこりは

実はその木こりは

源頼光の **家**来で **碓**井貞光 **ゆ**うんよ。

みなもとのよりみつ の家来で、うすいのさだみつ といいました。

貞光は **い**ろんなとこ **ま**わって

さだみつは いろいろなところを回って

がいな **男**しを **探**しよった **途**中よ。

強い男を探していた途中でした。

「**お**前 **強**いけん **都**に **き**てみたら **ど**ーぞい」

「君は強いから、都に来てみたらどうだい?」

貞光は **しゃん**しゃん **く**どき **お**としたわね。

さだみつは、てきばきと(金太郎を)説得させました。

行く日に になったら

旅立ちの日がやってきますと、

クマや イノシシら 連れが せるぐらいに

クマやイノシシたちの友達が、混雑するぐらいに

集まって 見送りに きてくれたがん。

集まって、見送りに来てくれました。

「みんな 立派なさむらいに なるまで

「みんな、立派な侍になるまで、

もんで こんけんのお。いってこーわい」

(ここには)帰ってきません。(それでは)行ってきます。

動物らの 連れとも お別れじゃけん。

動物の友達ともお別れです。

タヌキやか こまいけん クマに

タヌキは小さいので、クマに

かたきんば してもろて 手え ぶりよらい。

かたぐるましてもらって、手を振っています。

ほんで 都にいった 金太郎は

そして、都に行った金太郎は、

源頼光んとこ いったのお。

みなもとのよりみつのところに行きました。

ほんでも あんきにやか できんわね。

それでも、気楽になどできません。

そくらんと はんぎりかんで やりよったわね。

ミスをせずに、一生懸命努力して、頑張っていました。

ほんで のちに 坂田金時 となるんよ。

そしてのちに、さかたのきんとき となりました。

碓井貞光 渡辺綱 卜部季武 と並んで

うすいのさだみつ、わたなべのつな、うらべのすえたけ と並んで、

「頼光四天王」の ひとりじゃけん。すごいわや。

「よりみつしてんのう」の一人となりました。とてもすごい事です。

ほんで 都に来て きざかい ばっかり しよう

そして、都に来ては悪さばかりする

欲どしい 鬼 やっつけて

欲の深い鬼をやっつけて

有名に なったんじゃけんどのお…

有名になりましたが…

そんなん 知らん人が 多いけん

そんな(話を)知らない人が多いので、

まあまあ つらいかい…。

少し悲しいところです。



【本文内 赤文字 の解説】

きによう	きのう、昨日。お年寄りの方で、今もこう発音する方がいる。
から	身体、すうたい。「からだ」からの変形か?
ケーキ	現在でも、アイスクリームで作られたデコレーションケーキ(クリスマスや誕生日用)は販売されているが、通常のカップに入ったアイスクリームや、ガリガリ君のようなキャンディタイプのもの、いわゆる氷菓子をまとめて「ケーキ」と言ってしまう年配の方は多い。
つらい	本来は「悲しい」などの意味となるが、「困った」ときに使用(本文中)。また、ご婦人たちは「申し訳ない」場合にも使用する。<例>喫茶店レジにて。「ここは私がはらおわい」「いかんいかん、前もはろてもろとんのに…、ええ～、えんで～、つらい～」
ねき	※1 は 大木の幹を意味する(下の方) ※2 は「近く」の意味となる
そくらんと	「そくる」で、失敗する、間違えるの意味。ここでは「そくらんと」と否定して、「失敗せずに～」となる。
一銭橋	昭和58年にメロディー橋ができるまで、加茂川に掛けられていた木製の橋。大きな台風で流されては設置を繰り返された。昔は通行料として一銭必要だった。
たまがず	びっくりする。驚く。「たまげる」が語源か?
おいさん	子供から見て年上である、中年男性の総称。 <例>「そこにおるおいさんに聞いてみよや」 また、親戚の叔父(おじ)さんも「おいさん」と呼ばれる。<例>「母屋のおいさんはだらいかい」
しゃんしゃん	てきぱきと、段取り良くやること。また段取りが悪い場合、怒るときにも使う。<例>「しゃんしゃんせんかい!」
はんぎりかんで	一生懸命、努力して、歯を食いしばって～的な意味。 この辺りだけではなく、徳島県や富山県でも使われている模様。

※ストーリーは諸説あります。またストーリーは一部アレンジしております。

ニュアンスや発音等は、地域、性別、年代などで異なります。また地域、性別、年代などで使う言葉、使わない言葉もございます。ご了承ください。

過去に掲載の「西条弁」「新居浜弁」のむかしばなしシリーズは編集部にお越し頂ければ、無料でコピーをお渡しができます。また、ホームページからPDF版をダウンロードできます。
<http://www.hoo-ja.com/>